

2021 年度国際交流プログラム活動報告書

大阪工業大学国際交流センター

世界へ飛び出せ



目 次

国際交流プログラム報告書の発行にあたって	3
国際交流プログラムについて	4
国際交流プログラムの概要、海外語学研修	5
夏期・春期語学研修プログラム	6
国際PBLプログラムについて	7
国際PBLプログラム(工学部)	8
国際PBLプログラム(情報科学部)	9
国際PBLプログラム(ロボティクス&デザイン工学部)	10
キャンパスの国際交流	13
海外交流協締結機関一覧	14
国際交流センター	16



国際交流プログラム報告書の発行にあたって

2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がりました。年々増加していた訪日外国人の姿も消え、国境を越えた人の往来は大幅に制限されました。また、ウイルスが各地で独自の変異を繰り返した結果、世界中から様々な変異株が現れ、各国は、その度に対応策に苦慮してきました。このような状況の中、本学の国際交流プログラムにおいても、多くのプログラムが中止となりました。その一方で、このような状況下でも「世界と交流したい」という学生思いは消えることなく、オンラインという新しい形で語学研修や国際PBLのプログラムを実施することができました。

これからも状況はどのように変化していくのか、わかりません。しかし、世界でそれぞれの国で人々が生活を営み懸命に生きています。そのような時にこそ、国を超えて人々が力を合わせて新しい生活様式を作り上げ、国際交流を推進していかなければなりません。新しい国際交流の形態の中で、皆さんが柔軟な思考を持つ学生時代に今まで考えもしなかった異なる価値観に触れ、視野を広げ、将来ごグローバル社会で活躍できる人材へと成長することを心から願っています。

2022年4月

国際交流プログラムについて

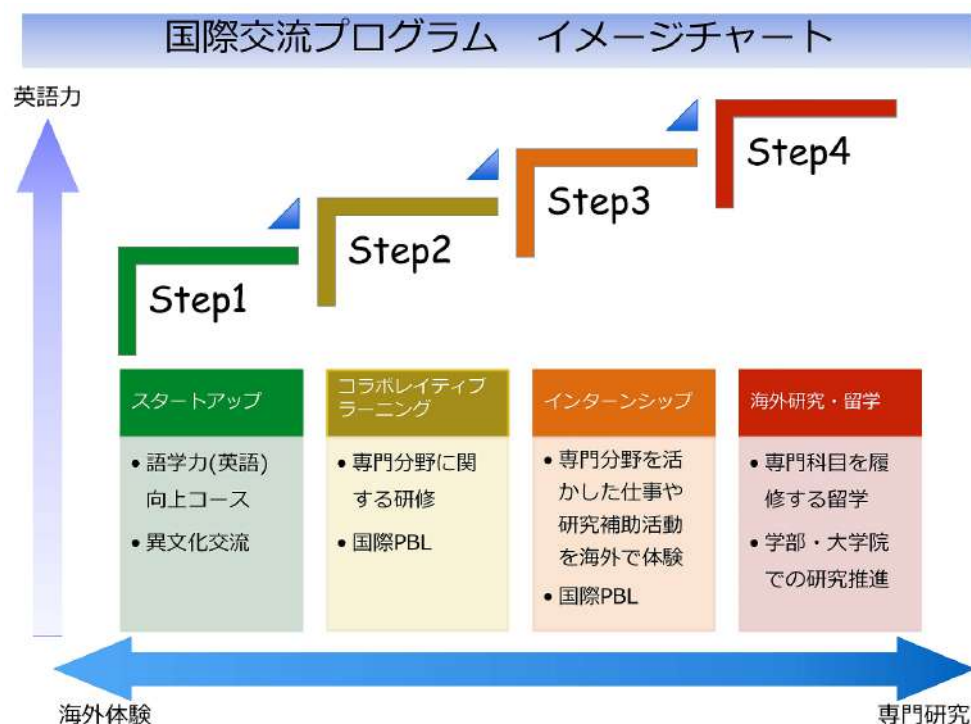
About OIT Study Abroad Programs

現代社会では、企業の生産拠点の海外移転、市場のボーダーレス化などはもとより、あらゆる活動に「グローバル化」が浸透してきています。本学における人材育成においても「グローバル化」への対応を最重要課題ととらえています。理系を中心とする本学としては、次の3点を「グローバル人材育成」のゴールとしています。

- ◆ 異なる文化背景を有する人々とのコミュニケーションに積極的な態度を持つこと
- ◆ ツールとしての英語を習得しており、日常会話はもとより専門用語にも精通していること
- ◆ 「専門職業人」として最前線で活躍するために、世界を相手にした情報収集や情報発信の技能を持つこと

上記の目標を達成するために、本学では次の点を重視して、さまざまな国際交流プログラムを提供しています。

- ◆ 「グローバル社会」に対する入学時からの意識づけ
- ◆ 学年の進行に応じて段階的に高度化するプログラムを提供すること
- ◆ 海外の学生たちとの協働の実体験を通じた学びを取り入れること



魅力ある国際交流プログラムの数々

本学では、国際競争力向上に貢献できるグローバル人材の育成を目指し海外の協定大学と連携しながら、独自の国際交流を展開しています。

世界にはばたくための多彩な国際交流プログラム

語学研修・文化体験プログラム

語学研修は英語圏にある海外協定校や語学学校で1～4週間、英語を集中訓するプログラム。会話中心、総合強化など希望のコースを選んで学習することで表現力やモチベーションの向上が期待できます。また、文化体験プログラムでは現地学生との交流や文化施設見学、アクティビティ、ホームステイ体験などを通じて、外国の文化を体験することができます。

国際PBL

学部2～3年生を主な対象として、海外の大学PBL(Project-Based Learning)を実施するプログラム。1週間～2カ月(オンライン時)程度、海外の学生と混成チームを作り、英語でコミュニケーションを取りながら、専門性に合わせた共通の課題に取り組みます。異なる価値観を持つ人々と協働することで多岐にわたるアイデアが生まれ、多様な能力が身につきます。

海外研究支援

本学大学院に内部進学が決定している4年生と大学院生を対象とし、海外の大学や研究機関等で1カ月以上の研究や実務の体験を行う場合、必要経費の一部を大学が支援する制度。派遣先の選定は指導教授が行い、各研究室の海外研究機関等とのネットワーク構築を大学が支援します。派遣先での活動は、卒業研究・大学院研究との接続などの観点から評価されます。

オンライン国際交流

コロナ禍で海外に派遣できない状況においても、語学研修や国際PBLをオンラインで行い、実際に現地で体験できるような生きた国際交流を実施しています。参加した学生からは、国際感覚やグローバルマインドが身についたと好評です。

語学・文化体験プログラム

語学研修プログラムの概要

国、都市	フィリピン・セブ	オーストラリア・メルボルン	カナダ・バンクーバー
機関種別	語学学校	協定大学	語学学校
機関名	NexusTALK	スインバン工科大学	ILAC
実施時期	2021年8月16日～9月17日のうち、1～4週間 2022年2月14日～3月11日のうち、1～4週間	2021年8月16日～27日	2022年2月14または15日から2～4週間
内容	語学研修(英語)	語学研修(英語) 学生交流	語学研修(英語)

文化体験プログラムの概要 ※2021年度は中止のため2020年度を掲載

国、都市	タイ・バンコク	インドネシア・マカッサル
機関種別	協定大学	
機関名	泰日工業大学	ハサヌディン大学
実施時期	2020年9月9日～9月10日	2020年11月9日～11月16日
内容	バーチャル観光 タイ語入門 伝統舞踊体験 歴史学習 学生交流	バーチャル観光 インドネシア語入門 伝統舞踊体験 漁師の生活と歴史の学習 料理紹介

全学部学科

夏期語学研修プログラム

オーストラリア

開催期間 2021年8月16日～27日

海外相手先 スインバン工科大学

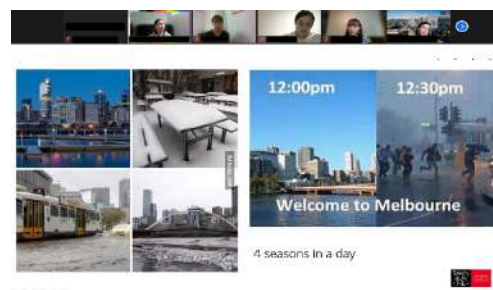
参加学生数 8人

フィリピン

開催期間 2021年8月16日～9月17日のうち、1～4週間

海外相手先 NexusTALK

参加学生数 31人



昨年度に続き、今回もSkypeやZoomを用いたオンライン形式での実施となりました。オーストラリアは他大学と合同のグループ形式で、フィリピンは講師とのマンツーマン形式で研修を行いました。一定の条件を満たした学部生には「海外語学研修」の単位が認定されました。

全学部学科

春期語学研修プログラム

カナダ

開催期間 2022年2月14日または15日から2～4週間

海外相手先 ILAC

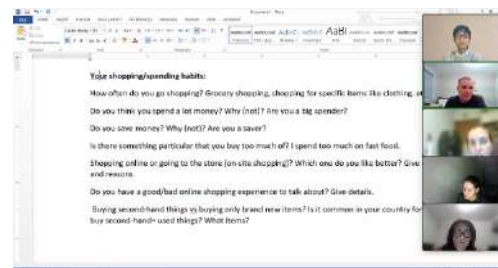
参加学生数 9人

フィリピン

開催期間 2022年2月14日～3月11日のうち、1～4週間

海外相手先 NexusTALK

参加学生数 15人



春期もオンライン形式での実施となりました。新たに加わったカナダの研修では、世界各地から集まった参加者との交流も盛んに行われました。夏期研修と同様に、一定の条件を満たした学部生には今後「海外語学研修」の単位が認定されます。

国際 PBL プログラム

International PBL Program (Hands-on Engineering Program)

学部の2～3年生を主な対象として、海外の大学を活動の拠点にPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)を実施するプログラムです。英語を使用言語として、海外の学生と混成チームを作り、それぞれの学生の専門性を発揮しながら、1週間程度、共通の課題に取り組むことで、学生の多様な能力を引き上げます。2020年度は新型コロナウイルスの影響により、オンラインで実施しました。

◆ 国際 PBL の概要

プログラムの特長

PBLは、与えられた課題を制限された条件下で取り組むことで、学生の多様な能力を引き出します。国際PBLでのグローバルな交流を通じて、PBLの達成感とダイバーシティ(多様性)を感じてもらうことが狙いです。



国際 PBL を行う意義



日本人とは異なる価値観を持った人たちと協働で作業に取り組むことで、予想外の多岐にわたるアイデアが生まれます。PBLのプロセスはイノベーションそのものなのです。本学では今後さらにグローバル化が進展する将来を想定して、異なる価値観を持つ海外学生とのPBLが有効と判断し、2013年度から本プログラムを開始しました。社会が求めるグローバル人材育成の目的の一つは「課題解決力」であり、本学が実施している国際PBLはまさにこの趣旨に合致するものです。

2020年度からは、SDGs(エスディージーズ/持続可能な開発目標)に関連したテーマを設定し世界共通の課題に取り組んでいます。

工学部 E D

テーマ Intelligent vehicle challenge 2021

開催期間 2021年8月17日～24日

海外相手先 台北科技大学(台湾)

参加学生数 本学学部12人、台北科技大27人



例年本学と台北科技大学、同済大学で実施している国際PBLは、コロナの世界的な感染拡大のために昨年開催が中止されましたが、今年度はオンラインでの開催としました。画像認識により赤と白のボールを識別し、赤ボールのみを収集する自立制御の車体を構築し、チームで競いました。

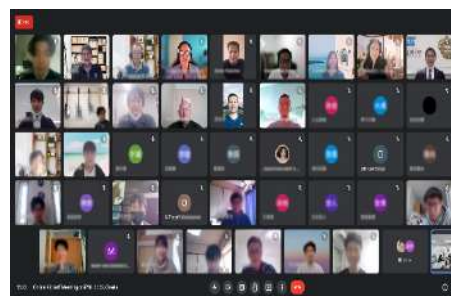
工学部 E D

テーマ 2022年度 夏休み国際 PBL
キックオフミーティング

開催期間 2022年2月25日

海外相手先 南台科技大学(台湾)、
サンホセレコレトス大学(フィリピン)

参加学生数 本学34人、南台科技大10人、サンホセ大20人



2022年度は、"Smart Energy Control Challenge 2022" をテーマに、スマートグリッド技術に関連した技術課題に取り組みます。このキックオフミーティングでは、開催方法および技術課題の説明と、それらに関する議論が行われました。

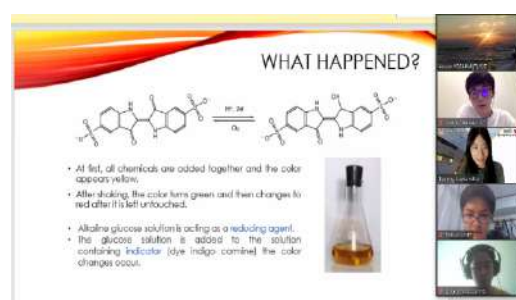
工学部 K

テーマ 化学マジック動画で化学の面白さを広めよう

開催期間 2021年7月24日～9月4日

海外相手先 国立台湾科技大学 (台湾)、
ウィドヤ・マンダラ・カトリック大学 (インドネシア)、芝浦工業大学等

参加学生数 本学5人、台湾科技大1人、ウィドヤ・マンダラ・カトリック大16人他



日本、台湾、インドネシア混合の約6名ずつのチームに分かれ、決められた期限までに意見交換しながら、化学マジック動画を作成しました。意見交換の際は、Slack等のコミュニケーションツールを用いました。その後、完成した動画をアップロードし、優秀作品が選ばれました。

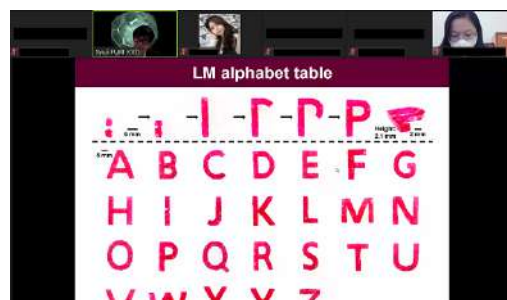
工学部 K

テーマ ウィドヤ・マンダラ・カトリック大学との
オンライン交流プログラム

開催期間 2022年1月20日～26日

海外相手先 ウィドヤ・マンダラ・カトリック大学
(インドネシア)

参加学生数 本学18人、ウィドヤ・マンダラ・カトリック大45人



本学とウィドヤ・マンダラ・カトリック大学の教員から最先端研究に関する講演を実施し、双方の研究分野について情報共有を行いました。国が違うことで研究に対するアプローチが異なることもありますが、人類が抱える共通の課題解決に向けた取り組みには共通認識があることが確認できました。

工学部 K M

テーマ 異分野交流を基軸とした
新素材イノベーションプログラム

開催期間 2021年9月30日～10月9日

海外相手先 バングラデシュ繊維大学(バングラデシュ)

参加学生数 本学12人、バングラデシュ繊維大12人

Name of the Program offering Entity	Name of the program(s) Bachelor / Masters / M. Tech. / Ph.D	Number of full time faculty members	Total number of students enrolled/ year	Year of B as enrollment
Wet Process Engineering	Bachelor (B.Sc. in Textile Engineering (Wet Process)) Masters (M.Sc. in Textile Engineering (Wet Process))	12	80 15	1993 2019

Faculty and Supporting staff	Number
1 Professor	02
2 Associate Professor	03
3 Assistant Professor	04
4 Lecturer	04
5 Instructor and laboratory attendants	03

日本とバングラデシュの学生2名ずつ計4名のチームに分かれ、プラスチックや繊維の廃棄、その再利用とゴミの減量をテーマに課題に取り組みました。チームごとに意見交換し、二酸化炭素の排出削減や地球温暖化抑制のための方策について、各専門分野をベースにした解決法を議論しました。

工学部 V

テーマ 大阪とインドネシアの都市環境問題に
関する環境工学フィールドワークアプローチ

開催期間 2022年3月3日

海外相手先 パランカラヤ大学、バクリ大学
ムラワルマン大学(すべてインドネシア)

参加学生数 本学2人、インドネシア合計12人



インドネシア共和国の国立パランカラヤ大学(UPR)、国立ムラワルマン大学(UNMUL)、バクリ大学(UB)の3大学と大阪工業大学から、教員によるそれぞれの研究分野の講演が5本、それぞれの学生による発表が5本実施されました。学生発表には、日本文化やミュージカルなどの解説もありました。

工学部

学科横断型

テーマ 人と環境に優しいものづくり技術の修得を
目指した研修プログラム

開催期間 2022年1月20日～31日

海外相手先 モンゴル工業技術大学、
モンゴルコーセン技術カレッジ

参加学生数 本学3人、モンゴル工技大15、コーセンカレッジ10人



本学とモンゴル工業技術大学およびモンゴルコーセン技術カレッジの学生が「人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える科学技術（Green Sustainable Science & Technology）」をキーワードにさまざまな理工学系技術習得を目指したプログラムに取り組みました。

情報科学部

テーマ 高度な画像処理技術にもとづく
自律移動ロボットプログラミング

開催期間 2021年8月28日～9月4日

海外相手先 タマサート大学シリントーン国際工学部
(タイ)

参加学生数 本学18人、タマサート大30人



今回のテーマは、これまで実施していたReal World Game Programmingというロボット制御に関するものと、Image Processing Programmingという画像処理に関するものを統合し、決められた条件をクリアするプログラムの作成とシミュレートに取り組みました。

ものづくり&デザイン工学部 ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰ

テーマ 企業課題をテーマとする国際PBL

開催期間 2021年4月6日～7月2日

海外相手先 スタンフォード大学(アメリカ)

参加学生数 本学8人、シリコンバレーの客員教授2人



少子高齢化、過疎化、空き家問題に直面している郊外型住宅団地（1,000～2,000戸規模）に関して「街の価値向上」および「高齢者の健康長寿」のテーマで2グループが取り組みました。7月にはシリコンバレーの先生方に発表し、意見をいただきました。

📌 ティクス&デザイン工学部 ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰ

テーマ デザイン試行を取り入れた国際PBL

開催期間 2021年6月28日～7月2日

海外相手先 マレーシアサバ大学(マレーシア)、
雲林科技大学(台湾)

参加学生数 本学10人、マレーシアサバ大10人、雲林科技大15人



ワークショップでは、オンラインの授業における問題や大学生のコミュニケーション問題、環境問題や高齢者の問題について、英語でディスカッションを行い、最終日に課題解決の提案を行いました。その後プロトタイプ開発や利用シーンの動画を作ることで提案を具体化し、発表しました。

📌 ティクス&デザイン工学部 ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰ

テーマ ヨーロッパ建築都市&デザイン研修

開催期間 2021年6月1日～7月26日

海外相手先 アウクスブルク応用科学大学(ドイツ)

参加学生数 本学18人、アウクスブルク応用科学大Katinka Temme教授



制作課題はダンボール素材を用いて、2M×2M×2Mの規模で、1～3人がくつろぐユニークなシェルターを、面構造や折構造の原理を応用して実際に制作するものです。ドイツの教授の指導を受けて原寸大の作品を制作しました。

📌 ティクス&デザイン工学部 ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰ

テーマ New York × Design Futures @ Pratt

開催期間 2021年4月27日～7月26日

海外相手先 プラット・インスティテュート(アメリカ)

参加学生数 本学12人、プラット・インスティテュート瀧浦准教授



ニューヨークで進んでいるOPEN STREETというテーマで、Public Spaceの居住環境に関する問題意識を元に社会を良くするデザイン提案を行いました。現地とつないだ授業で現在アメリカのビジネススクールで使われているデザイン理論を学び、グローバルな視点から授業を進めました。

知的財産学部

テーマ

ワシントン大学Global Innovation law Summit

開催期間

2021年7月16日～17日

海外相手先

ワシントン大学ロースクール

参加学生数

本学3人、JICA研修員



米国ワシントン大学ロースクール（CASRIP: ワシントン大学先端知的財産研究センター）による夏期特許集中講座にオンラインで参加しました。すべて英語で行われ、アメリカの著名な実務者などによる貴重な講演を聴くことができました。

知的財産学部

テーマ

米国知的財産インターンシッププログラム

ウィズコロナ時代の日本国内における米国知的財産実務調査

開催期間

2022年2月21日～2月26日

海外相手先

Google、Cisco、Comcast、
Unified Patents、White & Case他

参加学生数

本学10人



コロナ禍においても米国を中心とする知的財産実務の最前線を理解するために、①東京在住の米国弁護士・米国企業による講義、②日本企業（キヤノン、日本IBM、ソニー、マクセル）の国際知的財産部門での調査、③米国、英国の企業・弁護士による遠隔講義を行いました。

全学部学科

テーマ

コーナンベトナム
PBL型オンライン海外インターンシップ

開催期間

2022年2月21日～3月7日

海外相手先

ホーチミン市オープン大学(ベトナム)、
コーナンベトナム

参加学生数

本学2人、他大学の学生32人、ベトナム人学生25人

※コーナンは大手ホームセンターで、海外にも積極的に進出している日本企業です。

日本人とベトナム人学生合同チームで、ベトナムのリサーチマーケティング調査を実施し、そのマーケティング戦略をコーナンベトナム社長にプレゼンテーションします。8チームによる、ユニークな発表があり、審査の結果、最優秀賞と優秀賞が選ばれました。



キャンパスでの国際交流

Language Learning Center (LLC)

LLCは皆さんの英語学習のための「英語空間」。スタッフは国際色豊かでフレンドリーです。

LLCでは、英語学習教材、映画のDVD、ゲーム、雑誌などが利用できます。またコンサルテーション・ルームで先生と会話練習をしたり、自分に合った英語学習プランのアドバイスを受けることもできます。



場所

大宮キャンパスChast（受付2階）

※梅田・枚方キャンパス向けの講座もあります。

開室時間

授業期間中の（月）～（金）9:00～19:00

WEBサイト

<https://www.oit.ac.jp/japanese/learning/llc/>

国際友好部

国際友好部は国際交流を通してグローバル人になることを目標に、交換留学生のサポートや正規留学生とのイベント(オンライン交流)などを企画しています。

2020年度は新型コロナウイルスの影響で活動が制限される中、3キャンパスの紹介動画（日本語版・英語版）を作成しました。日本語版は新入生向けに、英語版は未来の海外交換留学生たち向けに、キャンパスツアーの一助にしたいとの思いで、部員で手分けしてカメラ撮影取材し、編集、字幕作成・英訳などを行いました。また、2021年度は、SDGSマイボトルデザインコンテストに作品応募や選考に協力するなど精力的に活動しています。

学内で国際交流したい方や国際友好部の活動に関心のある方は、国際交流センターまで気軽にお問い合わせください。



大阪工業大学 海外交流協定締結機関一覧

本学では、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成をめざし、海外の大学・機関との学術・人的交流の促進を積極的に図っています。本学と研究協定等を締結している海外の大学・機関をご紹介します。

◎は交換留学が可能な大学

国名	交流大学等		協定締結年月	協定の概要
	和文	英文		
中国	◎ 香港城市大学	City University of Hong Kong	2004年5月	交換留学(1年以下)にかかる協定
	華東理工大	East China University of Science and Technology	2017年3月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ 同済大学	Tongji University	1992年11月	学術交流および友好協力関係に関する覚書
			2010年2月	学生の交換留学(1か月以下)に関する協定
	清華大学	Tsinghua University	1993年12月	学術と教育の交流に関する包括的な覚書
	浙江大学	Zhejiang University	2016年5月	工学分野における学術・教育に関する包括的な覚書
	浙江省寧波市	Ningbo, China	2008年9月	環境問題を中心とした改善に関する協定
北京科技大学	University of Science and Technology Beijing	2020年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書	
韓国	◎ 大田大	Daejeon University	1994年7月	学術・学生交流に関する包括的な協定
			2014年3月	学生交流に関する協議書
	仁済大	Inje University	2017年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	国民大	Kookmin University	2017年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
モンゴル	モンゴル工業技術大	Institute of Engineering and Technology	2019年12月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
インド	◎ マニパル大	Manipal Academy of Higher Education	2017年11月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
インドネシア	パラカラヤ大	Palangka Raya University	2015年5月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	ウイダヤ・マンダラ・カトリック大	Widya Mandala Catholic University Surabaya	2017年4月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	ムラワルマン大	Mulawarman University	2018年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	バクリ大	Bakrie University	2018年4月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ ハサヌディン大	Hasanuddin University	2020年10月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
マレーシア	マレーシア工科大	Universiti Teknologi Malaysia	2013年5月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	マレーシアサバ大	Universiti Malaysia Sabah	2018年11月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ ペトロナス工科大	Universiti Teknologi PETRONAS	2019年7月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
フィリピン	サンホセレコレトス大	University of San Jose-Recoletos	2020年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
台湾	国立虎尾科技大	National Formosa University	2007年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	国立高雄科技大	National Kaohsiung University of Science and Technology	2009年6月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ 国立台北科技大	National Taipei University of Technology	2012年3月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
			2017年3月	交換留学(1年以下)にかかる協定
	◎ 国立台湾科技大	National Taiwan University of Science and Technology	2013年10月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ 国立清華大	National Tsing Hua University	2014年9月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
	◎ 国立雲林科技大	National Yunlin University of Science and Technology	2007年2月	学術交流に関する包括的な覚書
			2020年2月	学生交換に関する協定
	◎ 南台科技大	Southern Taiwan University of Science and Technology	2016年1月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 交換留学(1年以下)にかかる協定
			2020年2月	学生交流に関する協定
	世新大	Shih Hsin University	2009年3月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ 大同大	Tatung University	2016年9月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
			2019年1月	学生交流に関する協定
台湾經濟部	The Ministry of Economic Affairs, Taiwan (MOEA)	2020年2月	就職支援に関する覚書	
◎ 国立中興大	National Chung Hsing University	2020年9月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定	
タイ	◎ タマサート大学シリントーン国際工学部	Sirindhorn International Institute of Technology - Thammasat University	2014年6月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	泰日工業大	Thai-Nichi Institute of Technology	2009年2月	短期学生交換に関する協定
	チュラーロンコーン大	Chulalongkorn University	2021年7月	学術・学生交流に関する包括的な覚書

国名	交流大学等		協定締結年月	協定の概要
	和文	英文		
ベトナム	ダナン工科大学	University of Science and Technology - The University of Danang	2016年3月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	カントー大学	Can Tho University	2019年11月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
サウジアラビア	キング・アブドゥルアズィーズ大 学	King Abdulaziz University	2010年7月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
オーストラリア	クイーンズランド工科大学	Queensland University of Technology	2009年3月	短期語学研修(派遣)に関する協定
	スウィンバン工科大学	Swinburne University of Technology	2015年6月	学術交流に関する覚書および語学研修にかかる協定
フィンランド	◎ タンペレ大学	Tampere University	2014年2月	学生の交換留学、教職員交流に関する協定
スウェーデン	◎ ウプサラ大学	Uppsala University	2018年5月	学術・学生交流に関する包括的な協定(情報科学部/研究科)
			2019年9月	学生交流に関する協定(全学部対象)
ノルウェー	◎ スタヴァンゲル大学	University of Stavanger	2015年6月	学生交換留学に関する協定
			2020年7月	学術交流に関する包括的な覚書
ポーランド	◎ ワロツワフ工科大学	Wroclaw University of Science and Technology	2011年4月	学術・学生交流に関する包括的な協定
オーストリア	◎ ウィーン工科大学	Technische Universitat Wien	2013年5月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
ドイツ	◎ ヴッパタル大学	Bergische Universitat Wuppertal	2010年3月	学術・学生交流に関する包括的な協定
			2018年3月	学生交流に関する協定
	◎ ミュンヘン工科大学	Technische Universitat Munchen	2009年12月	学術交流に関する包括的な覚書(工学部)
			2020年10月	学生交流に関する協定(工学部)
	◎ ミュンヘン防衛大学	Universitat der Bundeswehr Munchen	2009年12月	学術交流に関する包括的な覚書
			2020年7月	学生交換に関する協定
◎ HAWK 応用科学芸術大学	University of Applied Sciences and Arts	2021年3月	学術交流に関する包括的な覚書	
		2021年3月	学生交換に関する協定	
オランダ	デルフト工科大学	Delft University of Technology	2016年6月	航空宇宙工学分野における学術・教育に関する包括的な覚書
フランス	◎ バリ・デジタルイノベーション大 学院	Ecole pour l'informatique et les nouvelles technologies (EPITECH)	2019年11月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	◎ ボルドー大学	The University of Bordeaux	2020年12月	学術・学生交流に関する包括的な覚書 学生交流に関する協定
スペイン	◎ サラマンカ大学	University of Salamanca	2013年5月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
			2015年6月	学術・学生交流に関する包括的な協定
			2020年6月	学生交流に関する協定
アメリカ	◎ アンジェロ州立大学	Angelo State University	2015年4月	学生の交換留学、教職員交流に関する協定
	クレムソン大学	Clemson University	2016年8月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	ライス大学	Rice University	2010年2月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
	サンノゼ州立大学	San Jose State University	1997年5月	学術交流および友好協力関係に関する覚書・短期語学研修
	ジョージア工科大学	Georgia Institute of Technology	2018年6月	学術・学生交流に関する包括的な覚書
メキシコ	◎ グアナフアト大学	The University of Guanajuato	2019年10月	学術交流に関する包括的な覚書/学生交換に関する協定

【交換留学(派遣)について】

◎を付した大学、またはUMAPの加盟大学(約600校)へ、最長1年間、基本的に学費負担なしで留学することができます。大学により留学形態(授業履修、研究など)や語学要件、派遣人数など、条件が異なりますので、詳細は国際交流センターにお問い合わせください。

【受入れ交換留学生との交流】

海外協定校から受け入れた交換留学生は、本学学生とともに授業履修や研究活動を行うほか、クラブ活動や学内行事への参加を通じて本学学生と交流を深めています。

秋の遠足
(2019年12
月)



冬の遠足
(2020年2月)
カップラーメン



国際交流センター

本学では国際交流を推進するために、国際交流センターを設置しています。当センターでは、主に在学生の海外派遣や、海外からの留学生・研修生の受け入れのほか、留学希望者への各種情報の提供や、さまざまなアドバイスを行っています。

学内・学外とのネットワークを生かし、大学全体で「国際」的な事業展開を推進していくミッションを実現するためのツールとして少しでもお役に立ちたいと考えています。

留学はもちろん、異文化や留学生との交流に興味のある方は、気軽に国際交流センターまで相談に来てください。

【開室時間】

月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 事前予約の場合を除きメール対応のみ

【場 所】

大宮キャンパスChast1階



「SDGs」オンライン映画配信サービス

映画を通じて「SDGs」を一緒に学びませんか！

興味のある人は「国際交流」のページから以下のアイコンをクリックして映画視聴登録してください。アンケート協力者にはSDGsバッジを進呈します！

本学では国際PBLの今後5年間の共通テーマを「SDGs」（持続可能な開発目標）としています。そこで国際交流センターは、社会課題（環境、平和、食、人権、多様性、エネルギー）などSDGsをテーマとする世界のドキュメンタリー映画を本学学生と教職員のみなさまが自由時間に無料で楽しんでいただけるプログラムを用意しました。関心のある方は、ぜひ国際交流センターホームページからお申込みください。この機会にSDGsに対する理解を深め、皆さんの専門分野に即した研究課題発見に役立てていただければ幸いです。

編集・発行 大阪工業大学 国際交流センター
〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16番地1号
TEL (06)6954-4935

Website: <http://www.oit.ac.jp/japanese/international/>

Twitter: https://twitter.com/OIT_INTL

2022年4月30日 発行